

Ⅶ. 証券化エクスポージャー

1. リスク管理の方針及び手続

リスク集中回避のため、投資する証券化エクスポージャーの外部格付に応じた保有限度額を設定しております。また、新しい仕組の商品に投資する場合は、投資部署とリスク管理部署が十分な協議・検討を行い、リスクの所在を明確にしたうえで投資しております。投資後はリスク管理部署において、評価損益、VaR（バリュー・アット・リスク）、デュレーションの計測、及びストレステストを実施することによりリスク管理を行っております。

なお、当行がオリジネーターとなっている証券化エクスポージャーはありません。

2. 信用リスク・アセットの額の算出に使用する方式

当行では、証券化エクスポージャーの信用リスク・アセット額の算出には標準的手法を採用しております。また、金融庁告示第19号附則第15条（証券化エクスポージャーに関する経過措置）は適用しておりません。

3. 証券化取引に関する会計方針

当行がオリジネーターとなる証券化取引はありません。当行が投資家として保有する証券化商品については、満期保有目的債券に区分したものは償却原価法、その他有価証券に区分したものは時価法にて評価しております。

4. 証券化エクスポージャーのリスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関

リスク・ウェイトの判定においては、すべての証券化エクスポージャーに対して(株)格付投資情報センター、(株)日本格付研究所、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク及びスタンダード・アンド・プアーズ・レーティング・サービスの格付を使用しております。

5. 投資家として保有する証券化エクスポージャーの額

【連結】

（単位：百万円）

	平成18年度
住宅ローン債権	5,095
オートローン債権	2,822
その他個人向け債権	2,016
リース債権	6,339
事業者向け貸付債権	6,730
商業用不動産	3,791
その他	2,975
合 計	29,770

【単体】

（単位：百万円）

	平成18年度
住宅ローン債権	5,095
オートローン債権	2,822
その他個人向け債権	2,016
リース債権	6,339
事業者向け貸付債権	6,730
商業用不動産	3,791
その他	2,975
合 計	29,770

6. 投資家として保有する証券化エクスポージャーのリスク・ウェイト毎の残高及び所要自己資本

【連結】

(単位：百万円)

	平成18年度	
	残高	所要自己資本の額
20%	27,319	437
50%	2,451	98
100%	—	—
自己資本控除	—	—
合 計	29,770	535

【単体】

(単位：百万円)

	平成18年度	
	残高	所要自己資本の額
20%	27,319	437
50%	2,451	98
100%	—	—
自己資本控除	—	—
合 計	29,770	535

7. 投資家として保有する証券化エクスポージャーのうち、自己資本比率告示第247条の規定により自己資本から控除した証券化エクスポージャーの額

該当事項はありません。

8. 自己資本比率告示附則第15条の適用により算出される信用リスク・アセットの額

該当事項はありません。